

事業所名

ライフゆう学齢デイ

支援プログラム

作成日

2025年

1月

14日

法人（事業所）理念	学齢期の重症心身障害のお子さんのための、家庭や学校でもない、もう一つの居場所です。						
支援方針	さまざまな専門職スタッフ（児童発達支援管理責任者・看護師・理学療法士・作業療法士・保育士・児童指導員）が、一人ひとりの特性に合わせて活動を楽しんでいただけるよう、プログラムを組んでいます。						
営業時間	放課後利用 長期休暇	14時 10時	0分から 17時 16時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・毎来所時、顔色や発汗など体調観察を行い、検温、バイタル測定をします。 ・呼吸管理、発作時の対応をお子様の体調に合わせて、適切に行います。 ・室温、環境を整え、安楽に過ごせるよう支援します。 ・食事や水分の経口摂取、注入など、お子様に合わせて支援します。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚、聴覚、触覚、嗅覚、味覚、など感覚活動やスヌーズレンの体験を通して、様々な刺激を受けられるよう支援します。 ・ストレッチやマッサージ、バランスボールなど、無理のない範囲で身体を動かします。 ・制作、スイッチ押しなどを通して、手先、指先のトレーニングをします。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩に出る、野菜を育てるなどの活動を通して、季節の変化への興味などの感性形成を目指します。 ・紙粘土やスライムなど、物質の変化や感触を通して、感覚の認知形成を目指します。 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・絵カード、タブレット等の適切なコミュニケーション手段を選択し、活用します。 ・「はじまりの会」で今日の天気や曜日、お子様の名前を呼ぶなど、気持ちを表出する支援をし、受容します。 ・お友達や支援者との関わりを通して、充実した時間が過ごせるよう支援します。 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームや制作をお友達と一緒にを行い、協同による達成感を得られるよう支援します。 ・「ライフゆう」に入所しているメンバーさんとイベントや活動を通して交流します。 					
家族支援	お子様の体調、医療的ケア、コミュニケーションや判断する仕草等を、個別支援の場面の観察や面談の機会などを通じてお伝えし、共有します。			移行支援	卒業後の通所先の事業所、支援学校と連携し、情報共有をしています。		
地域支援・地域連携	関係機関で情報を共有し、日常的な生活や支援、医療的ケアに活用するための具体策を提案、実行します。			職員の質の向上	法人内の研修に定期的に参加しています。		
主な行事等	春：卒業式・入学式・お花見 夏：夏祭り 秋：運動会、ハロウィンパーティ 冬：クリスマスパーティ 等。 他、同法人の医療型障害児者入所施設「ライフゆう」のイベントに参加しています。						